

光経済研究所株式会社

東京都中央区日本橋人形町 1-18-9 TEL 03 (3669) 2331(代)

証券投資顧問業登録関東財務局長第 557 号 日本証券投資顧問業協会会員 011-00557 号

平成 14 年 11 月 26 日号

ファンドマネージャー 出来岡 潔

<http://www.hikarikeizai.co.jp>

今回は、現在人気を集めている銘柄を**一目均衡表の理論**を使って分析してみます。

7969 タカラ

まずは、**変化が起きやすい時間帯**を調べてみます。8月6日安値 878 円から 10月7日安値 739 円までの日柄は 43 日、その 10月7日から 43 日目は **12月6日**。

あるいは、7月10日高値 1065 円から 10月7日安値 739 円までの日柄は 62 日、その 10月7日から 62 日目は 2003 年 **1月9日**。この前後が変化の起きやすい時間帯といえます。こうした理論を**対等数値**といいます。(6月11日号のレポート参照)。

次に、上値メドとなる**計算値**を出してみます。 の下げ幅の 109 円を 11月5日高値 1013 円に足すと **1122 円(V 計算値)**。 の上げ幅の 192 円を 10月22日高値 931 円に足すと **1123 円(E 計算値)**。

の上げ幅の 438 円を 10月7日安値 739 円に足すと **1177 円(N 計算値)**。

以上 3 つの計算値が考えられます。(計算値の出し方は 3月7日号のレポート参照)。

つまり、今後の短期的な見通しは **12月6日頃**に **1122 円**、**1123 円**、**1177 円**のいずれか前後まで上げるようだ、目先的にピークになる可能性がある。こんな見方が出来ると思います。

この件に関するお問い合わせは 03 - 3669 - 5022

毎日更新、旬な銘柄を選んで分かりやすく解説する、**無料テレホンサービス**の「やさしいチャート教室」 03 - 3669 - 5552 で放送中、是非お聞きください。

《タカラ》 一目均衡表



Alpha Chart 社製

このレポートは投資の判断となる情報の提供を目的としたものです。銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願い致します。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。